



第一回能勢分校卒業式を開催しました

令和3年2月26日(金)、第一回豊中高等学校能勢分校第1期生の卒業式を執り行いました。3年生総勢28名が能勢分校での3年間の学びと思い出を胸に、大いなる夢に向かって巣立っていきました。

コロナ禍の中、保護者、学校関係者の参列は最小限でしたが、全職員、全校生徒が参加しました。卒業証書授与、卒業生へ花束贈呈の後、卒業生から手作りのスライドとともに、お世話になった先生方への感謝の言葉があり、涙を誘いました。その後、卒業生全員が菅田将暉の「虹」を、心を込めて歌いました。

卒業生が当時小学1年生の時に能勢高校にタイから留学できていたジニーさんが、東京からお祝いに駆けつけてくれました。また、高校1年生の時に共に学んだ、マレーシアからの留学生イマンさんからも卒業を祝う手紙が届きました。卒業生皆さんのこれからの活躍を心から祈っています。



能勢分校で ^{7千} 里山留学が始まります

令和3年4月から、能勢分校では通学するには距離と時間的に難しい高校生に対し、能勢町内のご家庭に下宿し、通学することができる「プチ里山留学」が始まります。週末は府内の実家に帰ることも可能です。

4月に入学が決まっている新入生の中には、すでに下宿制度を利用する生徒が数名おり、能勢町での生活を心待ちにしています。

能勢町に下宿することで、都会にはない自然、豊かな人間関係、伝統文化に触れ、素晴らしい高校生活が送れるよう、能勢分校は全力で応援します。



MBS毎日放送『ミント!』で能勢分校の活動が紹介!

2月1日(月)、毎日放送(MBS)『ミント!』の番組コーナーである、たむけんじさんの「学校に行こっ!」で、能勢分校が約20分間にわたり放送されました! 3年生とたむけんさんの楽しい掛け合いや、昨年発足した「地域魅力化クラブ」の紹介、能勢についてクイズを出題するなど、内容が盛りだくさんで、能勢分校の魅力が十分に伝わる内容でした。たむけんさん、スタジオの出演者からは、「生徒達から元気をもらえた」、「素晴らしい学校だ」、と絶賛されました。放送後も、能勢町のみならず、町外、そして海外からもたくさんの反響がありました。



『課題探究 GS』最終発表会を開催しました！

昨年12月25日(金) 浄るりシアター小ホールにて3年生全員による「課題探究 GS」の最終発表会を行いました。個人発表やグループ発表の形式で、3年生全員が前に立ち、パワーポイントを用いてそれぞれが一年間かけて探究してきた内容をプレゼンテーションしました。科学、歴史、文学、数学、経済学、教育学と、多岐にわたる分野の14の発表がありました。どの発表も課題をしっかりと見据え、考え、調査し、探究した素晴らしい学びの集大成でした。

この発表は成果集としてまとめました。



- | | |
|---|--------------------------|
| 1. 翻訳がもたらす原作の改変 | 森村 虹海 |
| 2. 能勢町の生涯スポーツにおける環境の考案 | 山本 翔太、黒田 優亜 |
| 3. 日本語の教授法について | 竹田 莉央 |
| 4. 能勢の伝承 | 藤田 実優、濱 好美 |
| 5. 三白三黒 | 竹内 みんと、田中 陸翔、服部 拓実、平田 浩二 |
| 6. 能勢町と梶原町の地域創生取組の比較 | 中植 航太 |
| 7. 能勢町の小学生の遊び | 泉 明日美、井上 朱音、三谷 真矢 |
| 8. チキントラクターON 斜面 | 門田 歩弓、左近 美優、吉本 優志 |
| 9. メロンの無農薬栽培 | 小倉 直、富田 昂寿、合田 周平 |
| 10. 防災意識を高めるには | 中尾 帆介 |
| 11. 果樹栽培におけるカメムシの被害軽減のために
～安心・安全な方法をめざして：忌避剤の利用～ | 田村 颯馬、長嶺 汰輝、八木 大樹、三谷 優生 |
| 12. n進法と桁数の関係について | 大西 琉斗 |
| 13. 地域とスポーツ | 三宅 晋平 |
| 14. 経済について | 泰江 弥樹 |

地域協働推進事業(グローバル型)の活動

地域協働推進事業(グローバル型)とは文科省によるSGH(スーパーグローバルハイスクール)の後継事業のひとつです。

◆ 全国ユース環境活動発表大会 近畿大会で最優秀賞、全国大会へ

『全国ユース環境活動発表大会』は、環境省などが主催し、持続可能な社会の実現の構築に向けた環境活動を行う高校生が、その取り組みを発表するものです。能勢分校は消滅可能性都市の活性化をテーマに発表を行いました。近畿大会は、12月22日に結果が発表され、**1位の最優秀賞**を受賞、読売新聞大阪版のページに能勢分校が大きく取り上げられました。全国大会は2月3日に最終審査が、2月5日、全国大会参加校によるオンライン交流会が開催されました。最終結果発表で、能勢分校は優秀賞を受賞しました。

◆ 全国高等学校グローバル探究オンライン発表会 (Glocal High School Meetings 2021)

『全国高等学校グローバル探究オンライン発表会』は文科省が主催し、全国のグローバル型地域協働推進校、事業特例校、アソシエイト校 37校が参加しています。能勢分校は事業特例校として参加しました。この発表会も動画録画し、オンラインで発信しました。審査の結果、能勢分校は**日本語発表が銅賞、英語発表が銀賞**でした。1月30日にはライブ配信でオンライン発表会に参加し、表彰を受けました。



読売新聞に掲載



全国ユース環境活動発表大会



全国ユース環境活動発表会
地方大会最優秀賞



全国高等学校グローバル探究発表会
英語部門 銀賞(左) 日本語部門 銅賞(右)



●その他のグローバル型活動●

- 12月11日(金): 3年生福祉総合実習, 24日(木): 2年生社会福祉基礎 講師: 能勢町国保東診療所 宇佐美先生
- 12月18日(金): 遠隔ネットシステム“スムーズスペース”にて、島根県立隠岐島前高校と発表交流
- 12月25日(金): 遠隔ネットシステム“スムーズスペース”にて、宮崎県立飯野高校と発表交流
- 2月2日(火): オンライン講座2年生プレ課題探究GS 講師: 榎原友樹氏
- 2月5日(金): 2年生プレ課題探究GS 夕張市にヒアリングを行う。関西学院大学小西砂千夫教授の参加もあった。
- 2月9日(火): オンライン講座1年生GS課題探究 講師: 川又孝太郎氏、ベネッセコーポレーション竹下友梨氏
- 2月10日(水): 2年生 課題探究学習発表会
- 2月16日(火): 1年生 課題探究学習発表会
- 2月20日(土): 3年生2名が、宮崎県立飯野高校主催「全国グローバルリーダーズサミット」にオンラインで参加、発表。

能勢町×能勢分校連携講座を 開催しました(全 5 回)

能勢町との連携講座は、昨年 8 月 24 日(月)「(株)能勢・豊能まちづくり」代表取締役 榎原友樹氏の、能勢町の再生可能エネルギーについて高校生と地域住民がともに考えた講座を第 1 回とし、その後「高校生と考えるこれからの社会像」と題し、計 5 回にわたりシリーズ化しました。

第 1 回榎原友樹氏



➤➤ 第2回 12月7日(月) 1・2年 GS 課題探究基礎講座

講師:川又 孝太郎氏(環境省環境再生・資源循環局事業担当参事官)

テーマ「能勢版シュタットベルケ、脱炭素社会」

1 年生が「水力発電・バイオマス・太陽光・地熱発電」の調べ発表後、講評と講義『再生可能エネルギーの時代』。2 年生は『NOSEDG's 能勢を持続可能なまちにするための 4 つのゴール』を発表後、講評いただき、その後川又さんによる『地域のエネルギー資源を用いた地域の活性化』の講義がありました。これから脱炭素社会に向かう世界の中で、再生可能エネルギーの活用、自治体新電力での地域の活性化、気候変動の影響と対策の意義などを考える貴重な講義の時間でした。

➤➤ 第3回 12月9日(水) 2年 GS 課題探究基礎講座

講師:小辻 昌平氏(サラヤ株式会社 コンプライアンス推進室課長)

テーマ「コロナ禍におけるサラヤの役割と環境保全」

サラヤは自然に配慮した洗剤や消毒剤を主な製品としており、このコロナ禍において自社の研究ノウハウを生かした様々な活動も行っています。講義ではサラヤの歴史、ボルネオで保全活動を始めた経緯、SDGs(持続可能な開発目標)を達成するためテーマを掲げての課題解決に取り組むなど、各自が明確な意思を持って行動することが大切だと話されました。コロナウィルスや森林破壊など様々な問題に直面している今、私たちがすべきことは何かを考えさせられる講座でした。

➤➤ 第4回 12月21日(月) 3年 GS 課題探究基礎講座

講師:千葉 知世氏(大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授)

テーマ「ポストコロナ社会と『地域』」

千葉氏は環境省主催の勉強会のメンバーとして、小泉環境大臣らと共に「コロナ後の日本の未来と希望を考える会」でも活動されています。地球環境の危機が様々な影響を与え、コロナもそのひとつではないかと話されました。千葉氏の研究体験から様々な例を挙げ、解決しなければならない問題が山積みであること、そんなこれからの未来をいかに生き抜くか、個々考えていかなければならないと話されました。3 年生が今までグローバルな学びを深めてきた内容に沿ってお話しいただいたり、自分の意見を述べるワークショップもあるなど、充実した講座でした。

➤➤ 第5回 2月8日(月) 1年 GS 課題探究基礎講座

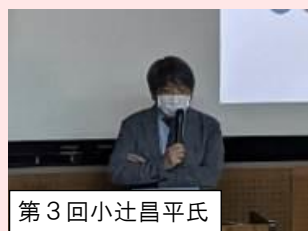
講師:藤田 美保氏(箕面こどもの森学園校長)

テーマ「SDGsカードゲームから考える地球の未来」

今回はカードゲーム「2030SDGs」を行い、SDGsの17の目標を達成するには、自分が世界でどのように動くべきなのかを体感的に理解することができました。町内外より多くの参加者があり、1 年生と同じグループの中で能勢町での持続可能な町づくりへの可能性を共に探りました。参加者からは、高校生と能勢町について話すことができて良かった、と感想がありました。



第 2 回川又孝太郎氏



第 3 回小辻昌平氏



第 4 回千葉知世氏



第 5 回藤田美保氏

帰国した留学生たちと
つながっています！



オーストラリアのミキ、マシューとオンラインミーティング

課題探究 GS のヒアリングのため、平成 30 年度に短期留学生として能勢分校 1 年生(現 3 年生)に在籍していたオーストラリアのミキとマシュー姉弟と、オンラインでつながりました。2 年ぶりの再会にお互い懐かしさがいっぱいの中、オーストラリアの自然を活用した公園についてヒアリングを行い、しっかりと聞きとることができました。ミキとマシューもとても元気そうでした。この成果は 12 月の最終発表会で発表しました。



ドイツのヤン君から手紙、年賀状が届きました！



『あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。2020 年は忘れられない年になりました。ドイツは、今またコロナで大変な状況になっていますが、コロナが収まったらまた日本に行きます。その際には学校に遊びに行きたいです。今年もよろしくお願いします！ヤンより』
能勢での再会が楽しみです。

❄️❄️ 耐寒遠足を行いました ❄️❄️

2月12日(金)、2年ごとに行われる冬の恒例行事、耐寒遠足を実施しました。全校生徒が参加しました。当日は穏やかな天気恵まれ、澄んだ能勢の空気を楽しみながら、歌垣農協前→歌垣山山頂→堀越峠→妙見奥の院→真如寺→仏坂から学校に戻る約9kmの道のりを一生懸命歩きました。コロナ禍の中、例年のPTAの皆様による豚汁の炊き出しに代わり、今年は、薪でお湯を沸かし、カップラーメンをいただき、心も体も温まりました。



八木さんが町から表彰されました！

1月21日(木)、3年生の八木大樹さんが能勢町から能勢町青少年表彰を受け、町長から表彰状をいただきました。八木さんは第32回大阪府公立高等学校空手道大会男子個人「型」の部において優勝、他多くの大会でも優秀な成績を収め、その功績が認められました。おめでとうございます！！



Way to go!

第3回 先輩からのエール！



能勢高校卒業生(63期生) 小路 昌秀さん

関西学院大学 人間福祉学部 社会起業学科 4年生

将来、何をすればいいのか、何がしたいのかわからない、こういった人は多いと思います。私も始めはそうでした。しかし、能勢高校へ入り、SGH(スーパーグローバルハイスクール)活動への参加が私を変えました。自分の人生をかけて取り組むべき価値のあるものを見つけられたのです。

私は平成27年度第1年次のSGH生で、日本での森林環境政策を学ぶために、マレーシアとドイツでの政策を研究し、マレーシアへの海外実態調査にも参加しました。環境より経済を優先するマレーシア、環境と経済の両立を目指すドイツ、この2国は日本の森林環境の過去と未来を映し出しており、この国を選んだことには大きな意味がありました。森林環境の問題は、過去から現在、そして未来へつながる、グローバルな課題だったのです。これは、社会と環境の調和を目指す、現在の世界的潮流からも理解できます。

さて、冒頭の話に戻りますが、私はSGHで学ぶうちに、『人々に広く影響を与える、グローバルな物事に自分も関わりたい』と思うようになったのです。グローバルに関わることで、自分の考えや発言、行動が社会を変えるかもしれないのです。ワクワクしてきませんか？私は環境問題に価値を見出しましたが、人生を通して情熱を注げる“志の原点”を見つけることが重要です。

私はいま、大学で地域活性を学んでおり、さらに今年の4月には慶應義塾大学大学院に進み、政策・メディア研究科で学びを深めていく予定です。学びに対する意識は、友人はもちろんのこと、留学生との交流でも加速したと感じています。

社会の一員としての意義を見つけることができたSGHでの学び。あなたも人生をかけてワクワクできる何かを高校生活の中で探してみませんか？



H31年度 SGH 発表会で卒業生としてコメント



R2年度寺子屋開校式にて卒業生として大学での学びを紹介



H29年8月上海で行われた空手国際大会に参加。右端が小路さん。能勢高の留学生だったヤオさん(左から二人目)と再会！一緒に来ていた彼女のいとこ(左端)は現在日本語を勉強中とか。

上の写真のように、小路さんは卒業後も能勢分校の様々な行事に積極的に参加しています。